

涌泉寺だより

天の瞑るは人に失有ればなり

(法華取要抄)

先祖供養に対する思いや考えは様々であると思ひます。私自身お盆になりますと、毎年先祖供養について改めて考え直します。先祖供養を行うことによって、自分に何がもたらされるのか科学で証明することでもないですし、統計をとるような事でもないでしょう。供養を行つた人が各々感じていくことで、何か現象等を求めるものではありません。しかしこれが家族に大きな変化がもたらされた時には、墓前でご先祖に報告するような習慣があり、内閣総理大臣就任ではその姿がテレビ放送されもしします。しかし世界の他の国では全く先祖供養を行わない国もあるとも聞きますし、日本でもお盆は海外旅行など余暇を過ごす日になつているご家庭もあるようですね。しかしながら、先祖供養の習慣は強く根付いており、インターネットのサイトに「彼岸寺」というサイトがあります。

がサイトを立ち上げられた松本圭介さんは、「各宗派がありますが、宗派の教えよりも先祖供養を特に重んじる日本は『先祖供養宗』といつてもよいくらいに思います。」と言つております。(とても興味深いサイトです。ぜひ一度ご覧下さい。)

御本尊様の給仕が第一という考え方を基本に、私も先祖供養を丁寧に勤めるように心掛けています。そこには色々な思いがあり、お墓掃除をしたりすると気持ちのよいものであり、

またお蔭をいただくこと感じます。これらは私なりの経験ですが、皆様もそれぞれの経験をお持ちであると思います。社会には法律があります。私はこれらと同じ様に仏さまの世界にも当然ルールがあると思います。私たちはその中で生きていていると私は思っています。皆様はその様なことを感じられたことがありますか。これが行き過ぎると多分オカルトになつていくのかとも思いますが。

いつもお唱えする方便品第二に「しかし、やめようこの法を説くことを。これ以上は語れない。なぜならば、仏が悟つたこの境地は最高で、なんびとたりとも理解できない法であつて、これを唯一理解し悟るのは唯、仏と仏同士だけである」(現代語訳)とありますように私たちにはお釈迦様のお説きになられること(仏さまのルール)は、私たちの心にも一念三千では仏の心があるとされます。やはり人間ですので完全に理解することはないのではないかと思つています。

私にも自然是お釈迦さまの教えを完全に理解することはないのですが、日蓮聖人の「立正安國論」の考えのように先ず社会があつて自分があるように考え、仏さまの世界があつて、社会があつて、そこに自分が存在するという謙虚な気持ちでいることが、心穏やかに生活させていただける考えと思つています。

先祖供養を経験することは、先祖があつて自分がある。先祖に感謝し身の回りに感謝することで少し謙虚に自分と他者を同一化していくことが出来ていくことでお釈迦さまの教えに触れ、より良い日常を送れるのではないかと思ひます。



お知らせ

先々代住職夫人葬儀

一月二十八日に亡くなりました、故深見智恵子の通夜、葬儀には大変寒い日となりましたが、沢山のお参りありがとうございました。生前はお檀家の皆様には大変お世話になりました。戰中よりお寺、保育園の護持に尽力してくれました。今のお寺、保育園があるのも故人のお陰と言つても過言ではありません。勝手ではありますが、もう少し長生きしてくれれば庫裡の完成を見てもらえたと思うとしても残念です。故人の恩に報いることが出来るよう今後も努力してまいります。

庫裡改修工事

一月十五日に設計士・施工業者・総代堂講さん等参列の下、安全祈願を行つてより事故なく工事も進んでおります。変更等が少し出ましたので遅れてはおりますが、何とか八月末日は完成の予定です。工事中はお檀家の皆様にもご不便をお掛けしましたが、お陰で無事に完成出来そうです。別紙でご案内させていただきますが、八月十三日～十五日の間庫裡の内覧をしていただくよう準備しております。お盆のお墓参りの際はぜひお立ち寄り下さい。

解体工事が終了した時点では、「改修工事でよかつたのか」、「本当に改修できるのか」、心配しましたがとても丈夫な建物にして下さいました。木造、鉄筋等家の構造はそれぞれの良さがありますが、やはりお寺は木造が良いと感じております。

を要する工事等は必要ありませんでした。しかし今回の庫裡工事業者さんにも再度確認いただきました。特に構造上等の問題はございませんでしたが、総代さんより床（敷居）が一部下がる箇所があるとの指摘がありましたので、今回一緒に床（敷居）・西面縁側を補強工事していただきまます。

また、本堂も人感センサー等で警備をさせていただきます。今まで本堂で盗難があつたわけではありませんが、松ヶ崎でも盗難事件の事例を聞くことがあります。大切な本堂ですので用心し、この度の工事で本堂、庫裡、保育園と全体警備に入ることになりました。

庫裡の催し

工事中のため庫裡での催し物はお休みさせていただいていましたが、秋には落語ができればと考えております。また皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。



改修工事中は毎週打ち合わせを行い確認してきました。折角ですので、出来る限りのことをと思い努力して参りましたが、十分でないところもあると思います。あと少し安全第一で事故なく終われるよう気を引き締めたいと思います。

現場の大工さん達は細かい注文にも気持ちよく応えてくれます。暑い中ですがとても気持ちの良い雰囲気の現場で工事をしてくれています。とても良い大工さん達に恵まれ感謝しています。

本堂床・西面縁側補強、警備工事

庫裡改修工事前に本堂の雨漏り等無いか確認した際、緊急